

○ 住民説明会における意見等（中里 2 丁目地区）

1. 日 時 令和元年 6 月 22 日（土） 16 時 00 分から 17 時 15 分まで
2. 場 所 中里区集会所
3. 出席者 防衛省整備計画局、北関東防衛局ほか
木更津市企画部
4. 参加者 25 名
5. 防衛省から説明資料に沿って説明後、以下のとおり質疑応答。

※【○主な質問等】【●防衛省の説明】【※木更津市の説明】

1. 木更津駐屯地への暫定配備期間について

- 佐賀県知事はオスプレイの受入れを表明し、有明海漁協と協議をしているということだが、どのような内容について協議しているのか。また、なぜ、有明海漁協との協議が難航しているのか。協議が整わなければ、木更津駐屯地が恒久配備先となるのではないか。
- 陸自オスプレイについては、昨年 8 月、佐賀県知事から受入れ表明を頂き、現在、佐賀県と有明海漁協において、佐賀空港建設時に締結された公害防止協定で確認されている『県は佐賀空港を自衛隊と共用するような考えをもっていない』旨の考え方の取扱いについて協議がなされているところである。佐賀県知事の受入れ表明後、協議の時期がのり漁期と重なり、漁協関係者が繁忙期に入ってしまったことから、のり漁期後の本年 5 月末、佐賀県知事が有明海漁協を訪問し、協議が開始されたところ。現時点では、有明海漁協は正式な意思表示をしていない。賛否があることは我々も聞いているが、丁寧に説明をして御理解を頂きたいと考えている。当該協議の進捗に応じ、施設整備に係る測量や基本検討等を行うことができれば、おおむね工期が判明すると思われるが、現時点で暫定配備期間をお示しすることは困難である。なお、佐賀空港が恒久配備先である考えに一切の変わりはない。
- 暫定配備期間が決まっていれば、騒音であっても我慢しようという気持ちになるが、期間が示されなければ、何も判断することができない。また、佐賀県と有明海漁協の協議が整ったとしても、駐屯地を新設するには、相当の期間を要すると思われる。
- 繰り返しになるが、佐賀県と有明海漁協との協議の進捗に応じ、施設整備に係る測量や基本検討等を行うことができれば、おおむね工期が判明すると思われるが、現時点で暫定配備期間をお示しすることは困難である。今後、進捗が見られた段階で、木更津市を通じて皆様にお知らせする。

2. 木更津駐屯地を暫定配備先に選定する必要性について

- この説明会は、木更津駐屯地への暫定配備が決定した、という報告をする

ために行われているものなのか。木更津駐屯地以外にも他に候補地があるのか。

- 防衛省として、木更津駐屯地が暫定配備先として最適であると判断したことから、木更津市の皆様の御理解と御協力を頂くために、説明をさせていただいているところ。

※ 防衛省からは木更津市の理解が得られるまでは暫定配備はしないということを、原田防衛副大臣からも同様の話を頂いた。市と市議会が要請に応えられるのか否か、協力できるのかどうかを、今後、回答することになる。現在、その回答をするために、説明会を設けており、基地周辺の住民の方、また、広く市民の方がどのような意見を持っているのか、それを伺っている段階である。暫定配備期間がはっきり示されないという点については、今後、市の方でも防衛省に対し詳細な説明を求めていると考えている。色々な意見が出て、また質問が出て、市が説明会の意見を踏まえて、詳細に説明を求めていく事項があれば、市が今後対応しながら、防衛省からより詳細な説明を引き出し、市議会や千葉県と相談しながらやっていき、皆様に回答したいと考える。

3. 生活環境への影響について

【騒音】

- 木更津駐屯地の運用時間を教えてほしい。
- 平日の8時30分から17時までを基本としている。
- 現状、21時過ぎまで飛行訓練を行っている。防音工事をやっているから大丈夫だろうと思われるが、防音工事の申請を出しても、速やかに工事が行われるわけではなく、また、家全体を防音工事していただけるわけではない。家全体を防音工事の対象とするなり、防音工事の助成対象地域を拡大する対応をしていただけるのであれば理解はできるが、住民はそのような感情を持っていることを理解していただきたい。
- 木更津市内の同じ地区においても、防音工事の助成対象地域と対象外地域が存在している。これは、騒音の状況によって分けられたもの。仮にオスプレイが暫定配備された後、騒音等の影響を見て、木更津市とも相談の上、適切に対応していく。御意見は承る。また、夜間飛行訓練は、我が国の防衛や災害派遣等に適切に対処するための技量を維持・向上する必要があることから、実施させていただく必要があることを御理解願いたい。

【訓練内容】

- オスプレイの訓練内容について教えてほしい。
- オスプレイはまだ配備されていないため、具体的な訓練内容は確定していないが、現配備機であるCH-47と同様の内容を行うことを想定している。

- オスプレイの暫定配備により、１７機全機が揃う２０２１年度以降は１日平均１５回、年４，５００回程度増加する見込みであるとのことであるが、単純計算すると、木更津駐屯地の運用日数は３００日ということか。
- 木更津駐屯地運用時間は、平日８時３０分から１７時までを基本としているが、これとは別に、夜間飛行訓練を実施している。木更津駐屯地に所在する部隊の任務は、関東以外でいえば東北、甲信越及び中部地区で山火事の災害派遣が行われている。そういった災害が発生した場合には、曜日に関係なく部隊に任務を付与し、対応させる必要がある。早朝に航空機のエンジンを始動するのも、そういった任務に対応するためである。御指摘の数値であるが、これは自衛隊機の運用実績から試算し、オスプレイが仮に１７機全機揃った場合は、このような回数になるという目安である。

4. その他

【補償等】

- 報道によると、佐賀空港にオスプレイを配備するに当たり、防衛省は着陸料として１００億円を佐賀県に支払うとのことであるが、事実関係は。仮に事実であれば、具体的な内容を説明していただきたい。
- 佐賀県が管理する空港への着陸料として、佐賀空港の条例の規定を踏まえ、１００億円を２０年間に分けて支払うものである。佐賀県がその着陸料をどのように使用するのか、それは佐賀県の判断になるのだが、防衛省と佐賀県との合意の中では、有明海漁業の振興を行うための振興基金、環境への影響や事故等による補償等の対象となる事案が発生した場合、国による補償等が行われるまでの間、必要な費用を一時的に貸し付けるための補償基金を創設することとされている。これは、実際に佐賀空港にオスプレイが配備された後に支払われるものである。
- 県営佐賀空港の中に駐屯地を作る、ということか。
- 佐賀空港に隣接している土地に駐屯地を整備するということである。

【地区要望】

- 中里地区は、木更津駐屯地があるために、漁業協同組合はあるが、潮干狩り場がない地区である。また、迂回して漁場に向かわなければならない状況である。また、中里地区は様々な協力をしてきた歴史があります。ＮＨＫの受信料も一時は安くしていただき、防音工事も一部やっていただいたことでもあります。陸自に隣接している中、中里地区が一番迷惑をしているという事実がありますので、中里地区に何らかの配慮をしていただきたい。木更津駐屯地の外郭に松林があるが、その落ち葉が非常に多いため、定期的な清掃をしていただきたい。以前から木更津駐屯地に清掃のお願いをしているが、誠意を感じない。災害派遣等への対応で大変だろうが、地元に対して誠意を

示していただきたい。

- いわゆる周辺対策事業は、これは木更津駐屯地に限らず、駐屯地等に起因する障害等があった場合には補助等を行う制度があるが、個人に行うものでなく、自治体を通じて行うものであることから、木更津市とも相談の上、適切に検討していく。松林の落ち葉については、木更津駐屯地に確認する。全ての状況を把握できていないため、木更津駐屯地や北関東防衛局に話を頂きたい。
- 現在、木更津駐屯地は、普天間飛行場に配備されている、米海兵隊MV-22オスプレイの定期整備拠点になっているが、仮に陸自オスプレイが暫定配備された場合、運用が混在することはあるのか。例えば、MV-22オスプレイが試験飛行を行っており、同時に陸自オスプレイが飛行訓練をするなどといったことは考えられるのか。考えられるのであれば、お互いの意思疎通が図られず、事故に発展する可能性はあるのか。
- 同じ滑走路及び飛行経路を使用することから、米海兵隊と陸自の機体が混在することは事実であるが、安全な運航のため、木更津駐屯地の管制官によって交通整理がなされることとなる。

【木更津市への質問・意見】

- 説明資料に、木更津市が暫定配備の了解をした場合、という記述があるが、何をもって了解というのか。また、どの程度の期間をもって判断するのか。
- ※ 住民説明会の開催回数については、現時点で決まっているのは9回である。基地周辺住民が8回と、広く市民の出席を求める会として1回を考えている。それらは日時場所が決まっているものになる。その他、漁協の説明会の開催についても相談しているが、日時場所についてはまだ決まっていない。また、区長会連合会からも説明を聞きたいと話があり、それは、防衛省からではなく、市からで構わないということもあるので、今後対応していきたいと考えている。結果的に全部で何カ所実施するのかは、現時点では分からないが、住民説明会9回、漁協は最大で6回、その他、要望があれば対応するという形である。また、暫定配備について、木更津市の理解が得られれば、という点についてだが、これについては市長と市議会が意思表示をする予定である。その意思表示がないうちに、また、協力できると市長が発信しないうちは、暫定配備は実現しないと考えている。
- 単なる反対派はどこまでいっても反対を主張するのみである。そうではなく、国のためを思っている個人もいる。中里地区は全体的な利益を考えている人がほとんどであることから、その見極めをしっかりとお願いする。その意見をよく汲んでいただき、手早く、効率的に行っていただきたい。
- ※ 承知した。